

認知症を声で判定

長生村、AI活用し実証実験

千葉県長生村は人工知能（AI）による高齢者の認知症チェックに乗り出した。認知症の早期発見支援システムを運営する日本テクトシステムズ

（東京・港）と連携し、声で認知機能の衰えを判

定するアプリの実証実験を全国の自治体で初めて実施した。同村はAIの活用で高齢者の健康寿命の延伸につなげたい考えだ。

実証実験は17日に村民向けに行った特定健康診

査の受診者を対象に実施した。200人の受診者のうち52人が日本テクトシステムズの「ONSEI（オンセイ）」で認知機能をチェックした。8月にも高齢者向け健康教室でアプリを利用する予定。アプリの利用効果などを検証した上で、今後の活用策を検討する。

アプリ「ONSEI」では、スマートフォンやなどから「今日は何年、何月、何日、何曜日ですか」といった質問が人工音声で流れ、利用者が答えるとAIが分析する。回答の正誤のほか、声の周波数などから数十秒で認知症の疑いの有無を判定できるという。